

**カーナビゲーション向け高精度ジャイロセンサに新ラインナップ
傾斜したダッシュボードへの取り付けに対応した、傾斜タイプ「XV-8000LK」**

エプソントヨコム株式会社(社長:宮澤 要)は、このたび、カーナビゲーションの測位手法であるDR(Dead Reckoning:推測航法)^{*1}向けに最適なジャイロセンサ「XV-8000 シリーズ」のラインナップとして、傾斜実装が可能な「XV-8000LK」を開発いたしました。

XV-8000 シリーズは、独自の水晶素子構造を用いた優れた安定性に加え、「QMEMS」^{*2}技術、低消費電力アナログ回路技術、パッケージング技術を駆使し、高精度かつ小型サイズを実現したジャイロセンサです。

インダッシュ型のカーナビゲーションにおいて DR を行ううえで、取り付けられたダッシュボードの傾きにより傾いたジャイロセンサは、DR ソフトウェアで補正することにより DR の精度を高めております。しかし、ダッシュボードの傾きによっては、DR 補正ソフトウェアでは十分に補正しきれない場合もあり、ジャイロセンサそのものの傾斜実装への市場要求がありました。

このたび開発したXV-8000LKは、取り付け角度の自由度をさらに向上させるため、センサを傾斜させて実装した製品です。

傾斜角度は10度と20度の2タイプを用意し、これにより、DR ソフトウェアの設定自由度を大幅に向上させることができます。

エプソントヨコムは、カーナビゲーションの新しい可能性を実現するジャイロセンサとして、小型・高性能化、利便性の向上を追求したラインナップを引き続き展開し、ユーザーのご要望にお応えできるソリューションをご提供してまいります。

なお、10月2日(火)～6日(土)に幕張メッセにて開催されます『CEATEC JAPAN 2007』展示会場のエプソントヨコムブース(ブースNo.:6E116)にて、本製品を含む水晶デバイスの展示を行います。

■ XV-8000LK の特長

1. 超小型を実現(6.0×4.8×3.3mm)
2. 水晶ジャイロ素子と温度補償回路を内蔵し安定出力を実現
3. 傾斜実装を実現(10度、20度)
4. 耐振動・耐衝撃特性に優れ、車載アプリケーションに最適
5. 温度センサ出力端子によるシステムの温度補正に利用可能
6. 気密封止構造による優れた耐環境性の実現
7. 鉛フリー対応^{*3}

■ XV-8000LK の主な仕様

項目	仕様	単位
電源電圧	4.75 ~ 5.25	V
使用温度範囲	-40 ~ +85	°C
感度	25.0	mV/deg./sec
0点電圧	2.5	V
0点電圧温度変化量	±3.5	%
検出範囲	±60	deg./sec
外形寸法	6.0×4.8×3.3t	mm

■ 用語説明

- *1 カーナビゲーションは GPS による位置演算処理に加え、車速パルスやジャイロセンサによる角度演算を追加する事で、自車位置をより正確に推測する【推測航法】処理が行われています。
- *2 高安定・高精度などのすぐれた特性を持つ水晶素材である「QUARTZ」と、「MEMS」(微細加工技術)を組み合わせた造語です。半導体を素材とした MEMS に対して、水晶素材をベースに精密微細加工を施し、小型・高性能を提供する水晶デバイスを「QMEMS」と呼びます。
- *3 端子部鉛フリーメッキ及び製品内部にも鉛を一切使用しておりません。EU RoHS 指令に適合しています。

本件のお問い合わせについては下記にお願い致します。

<報道関係>

経営管理部 広報グループ TEL : 042-581-1701
FAX : 042-581-1722

<お客様>

プロダクトマーケティング部 TEL : 042-587-5878
FAX : 042-587-5564

ホームページ : <http://www.epsontoyocom.co.jp/>